

アルミホイール 取扱説明書

アルミホイールを正しく安全に ご使用いただくために




このアルミホイールを
ご使用いただくお客様へ

- お取付け・ご使用前に必ず取扱説明書をお読みいただき、注意事項を守って正しく安全にご使用ください。
- 取扱説明書は必要な時にはいつでも取り出せる場所に保管してください。

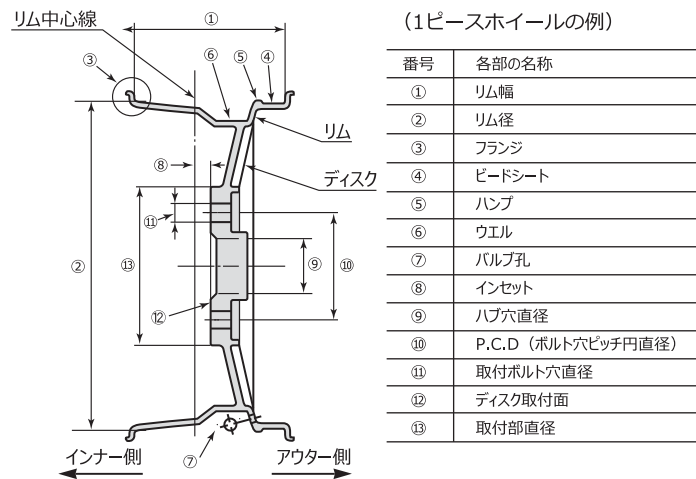
販売店様へ

- 装着する前にお読みになり、お客様へご説明の上、必ず本書をお渡しください。

この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。

 危険 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性がきわめて高い内容です。	 警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。	 注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性がある内容です。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

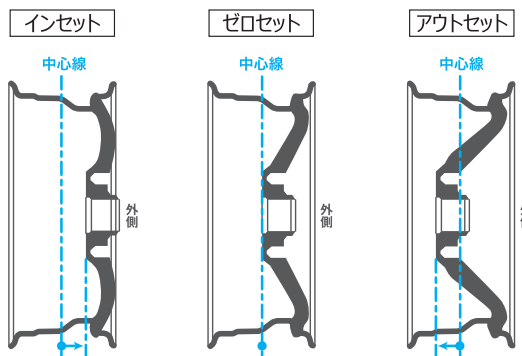
ホイール各部の名称



オフセットの名称変更について



2008年7月11日より国際基準に基づき、従来の「オフセット」という名称が変更になりました。これまでのプラスオフセットは「インセット」、マイナスオフセットは「アウトセット」に、オフセット±0は「ゼロセット」という名称になります。(下記参照) 当社のカタログでは、全て「インセット」に表記を統一しています。

従来表記	新名称	カタログ表記例
オフセット 40	インセット 40	インセット 40
オフセット -10	アウトセット 10	インセット -10
オフセット ±0	ゼロセット	インセット 0




ホイールの選定


■ホイールのサイズ・インセット・取り付け穴数・P.C.D. (ボルト穴ピッチ円直径)・取り付け面形状などが、装着する車に適合することを確認してください。これらが不適合ですと車に装着できません。


-  **警告** 車軸ごとに同じサイズ・同じ品種のホイールを装着してください。異なったホイールを混用すると操縦性・安定性が失われる場合があります。
-  **注意** ホイールとタイヤのサイズが適合しない場合、タイヤやホイールが損傷する場合があります。


バルブの装着・タイヤの組みつけ

- クランプイン (ナット締め) タイプのバルブでは、ナットの締め付けトルクは1.5~2.5 N・m (15~25kgf・cm) で締め付けてください。
- タイヤ交換時には、バルブも新品の専用バルブに交換してください。古いバルブをそのまま使用すると、パッキン等のゴムの劣化で空気がもれることがあります。
- バルブコア (むし) は、ショートタイプ (JIS B型、9000番) を使用してください。

-  **注意** バルブは付属の専用バルブをご使用ください。別のバルブを使用しますと、寸法・形状が合わず空気がもれることがあります。
- アルミホイールには、タイヤを表リム面から組むものと裏リム面から組むものがありますので、それぞれのリム形状にあったリム組みを行ってください。
- リム組みの際には必ず潤滑剤を使用してください。
- 使用空気圧の充てんはビードがシート周上に均等にのっていることを確認した上でおこなってください。

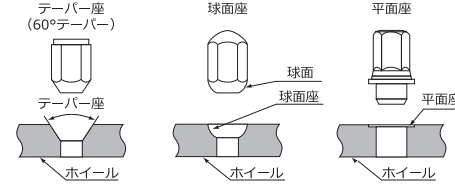
-  **警告** タイヤへの組みつけのための空気の充填は、安全圏いの中に入れるなどの安全措置を行った上で、空気圧 300kPa (3.0kgf/cm²) 以下で実施してください。

-  **注意** リム組み後、水槽・石鹸水などでタイヤとリムの合わせ目・バルブ等より空気のもれがないことを確認してください。バルブの空気もれの確認は、バルブとホイールの合わせ目・バルブ口を確認してください。

-  **注意** ホイールバランスは必ず全輪を調整してください。バランスが狂っていると、異常な振動や操縦性・安定性の低下を起こすことがあります。

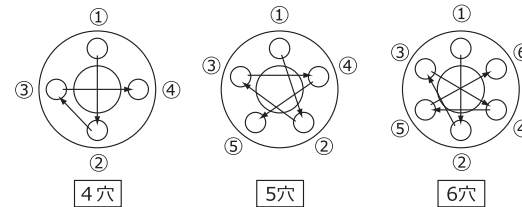
ホイールの車体への装着

■ホイールの取り付けナット座 (ボルト座) には、60度テーパ座・球面座・平面座などがあります。それぞれの形状に合ったナット (ボルト) をご使用ください。







- 車両のハブボルト (ボルト穴) と取り付けようとするナット (ボルト) の径・ネジピッチおよび長さが合っていることを必ず確認してください。
- アルミホイール装着の際は、常にスペアホイール取り付け用ナット (ボルト) を携帯してください。純正スペアホイールをご使用の際には、純正ホイール用ナット (ボルト) をご使用ください。
- 取り付けナット (ボルト) の締め付け順序は、図のように仮締めを行い、その後、推奨トルクで均等に締め付けてください。
(例) 60°テーパ座の場合
M10 = 50~70 N・m (5~7kgf・m)
M12 = 90~120 N・m (9~12kgf・m)
M14 = 160~180 N・m (16~18kgf・m)
不明の場合はホイール製造メーカーにおたずねください。

【ボルトの締め付け手順】



- 取り付けナット (ボルト) の締め付けには、必ずトルクレンチをご使用ください。
- 車両に装着後はハンドルを左右いっぱいきって車体との接触がないことを確認してください。
- 車両に装着後はタイヤ・ホイールがフェンダーからはみ出していないことを必ず確認してください。車体からはみ出した装着は法令で禁止されています。




-  **危険** 取り付けナット (ボルト) は、必ずホイール指定のものを使用してください。指定外の部品を使用して、十分な締め付けができないと、走行中にホイールが外れる危険があります。
-  **危険** 走行中にホイールが外れる恐れがあります。アルミホイールの車体への装着の際、以下の事項を必ずお守りください。
●車両の取り付け面やハブボルトに、錆・汚れ・変形が無いこと。
●取り付けようとするホイールと車両の取り付け面の干渉 (車両取り付け面上のピン・ボルト・センターボス・ワッシャーとホイールの接触) が無いこと。
-  **危険** 取り付けナット (ボルト) は締めすぎでも締め付け不足でも、ホイール・ハブボルト等の変形やゆるみを引き起こし、事故の原因となることがあります。トルクレンチを使用して、正しい締め付けトルクで締め付けてください。
-  **危険** 取り付けナット (ボルト) の締め付けに、インパクトレンチを使用しないでください。締めすぎやボルト・ナット・ホイール等の傷・変形を引き起こし、事故の原因となることがあります。トルクレンチを使用して、正しい締め付けトルクで締め付けてください。

お手入れと保管



- ホイールの腐食をさけるために、海辺や雪路・泥路などを走行した後は十分に水洗いし、柔らかい布で水分を完全にふき取ってください。
- 洗車機での洗車はホイールを傷つけることがあります。お手入れは手作業での洗浄をおすすめします。
- タイヤ・ホイールの保管は洗浄の後十分乾燥させ、直射日光・雨・水分・油類・高温多湿の場所を避けて保管してください。
- 保管の際はタイヤの空気圧を使用時の1/2程度に下げてください。再度ご使用の際はタイヤの空気圧の補充・点検・バランス調整を行い、タイヤ・ホイールに異常がないことを確認してください。

ホイール装着後の走行

- 取り付け後やローテーション (タイヤ装着位置の交換) した後は、100km 程度走行した後、取り付けナット (ボルト) を推奨トルクで増し締めしてください。
- 日常点検時に、取り付けナット (ボルト) のゆるみがないか必ず点検してください。

-  **危険** 走行中に不安定な走行状態になったり、異常な振動・音などを感じた時は、すみやかに安全な場所に停車して取り付けナット (ボルト) にゆるみがないか、タイヤ・ホイール、車両に異常がないか点検してください。異常が認められた場合は、事故の原因となる場合がありますので、適切な交換・修理が終わるまで走行しないでください。
-  **危険** タイヤ・ホイールに変形や損傷を引き起こすことがありますので、道路の縁石との接触・乗り上げ、凹凸道の走行などは避けてください。
-  **危険** 急発進・急制動・急旋回は、タイヤ・ホイールを傷めるだけでなく、重大な事故の原因にもなりますので絶対に避けてください。

その他の注意

-  **危険** 組立式 (2ピースまたは3ピース) ホイールの、リムとディスクの分解や組立ボルトをゆるめたりは絶対にしないでください。走行中にホイールが分解したり、急激な空気もれを起こす原因となることがあります。
-  **危険** ホイールの修理・加工は絶対にしないでください。不適切な加工・修理は、見た目にはわからない強度低下を招き大変危険です。修理のご相談は販売店・メーカーにお問い合わせください。

技術基準

乗用車用軽合金製 ディスクホイールの 技術基準	トラック及びバス用 軽合金製ディスク ホイールの技術基準	品質検査適合マーク
JWL	JWL-T	VIA
この基準は乗用車 (乗用定員 1 人以上の自動車、二輪自動車及び側車付二輪自動車を除く) 用軽合金製ディスクホイールに適用されている安全基準です。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものは JWL のマークが表示されます。	この基準はトラック・バス用軽合金製ディスクホイールに適用されている安全基準です。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものは JWL-T のマークが表示されます。	JWL・JWL-T 基準に定める適合商品であるかを第三者公的機関の「自動車用軽合金製ホイール試験協議会」が確認するもので、JWL・JWL-T 基準による厳格な品質・強度再確認試験に合格したもののについては VIA マークが表示されます。

YFC

販売元：株式会社ワイエフシー
神奈川県平塚市追分2番1号
TEL: 0463-75-9036
FAX: 0463-75-9519